親子を結ぶ、地域と結ぶ情報紙

こもんず

VOL.39

2019年５月８日発行

「つながりが創る豊かな家庭教育支援～子どもも家族も元気になる家庭教育支援を目指して～」を基本にこもんずの取り組みも12年目を迎えました。子育てを通して地域や人がつながること、子育て家庭に寄り添うこと、お互いを知りそして学び合うこと・・・。このような当たり前の関係の中での子育ち子育てを考えていきたいと思います。

～こもんずの活動～

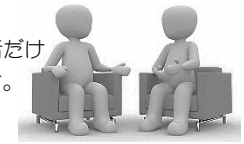
相談活動

●個別相談（こもんずカフェ）

子育ての悩みや不安を個別に相談できます。毎月１回３名の方の相談を**予約制（裏面参照）**でお受けしています。

●グループカウンセリング（こもんず広場）

子育てに関して気軽におしゃべりをする井戸端会議方式の集まりです。**開催日は、チラシや広報紙でお知らせします。**



「こもんずカフェ」先生と相談者だけで１時間じっくりお話ができます。



子育ては分からないことがたくさんで当たり前。子育て初心者からベテランママまで一緒におしゃべりして子育てを楽しみましょう！

学習機会の提供

子育てに関して学び合う機会を提供します。

・就学時健診時の講演会（小中台小学校・園生小学校）

・子育て親育ち講座・子育て井戸端会議講座

「スマホ講座」「ツボミスクール」「性のお話し」等を昨年度は実施。　**詳細はチラシや広報紙でお知らせします。**



就学時健診時講演会：臨床心理士が、入学にあたって保護者の心構えや子供との接し方などを分かり易くお話しします。入学を控えた保護者の方への応援講座です。

地域のネットワーク作り

●地域協力者会議(年２回)

学校･PTA･青少年育成委員会･保育所･公民館･稲毛区健康課･幼稚園、社会福祉協議会等の代表に参加頂き、子どもや子育て家庭の状況や各団体の取り組みについて意見交換をします。

●地域家庭教育フォーラム(年１回)

地域の様々な方に集まって頂き、家庭や地域の教育力を考えると共に「顔の見えるつながり」を作ります。



地域協力者会議：30年度１回目は小中台中学校、２回目は園生小学校で行いました。

広報活動

広報紙・チラシを小中台小・園生小・小中台中学校に配布、小中台公民館・図書館・地域福祉交流館等には設置して頂いています。ホームページでも活動予定のお知らせや活動報告をしています。

今年度こもんず活動予定

「こもんず☆カフェ」

日時　5/27(月)　9～12時　水谷麻未先生（子育て支援保育士）
6/17(月)　9～12時　角田啓子先生（臨床心理士）
7/ 3(水)　9～12時　水谷麻未先生（子育て支援保育士）

会場　小中台公民館

申込み E-mail：konakadaicommons@yahoo.co.jp
TEL：090-7707-2175 （菊池まり）

※お名前･ご連絡先･希望日時をお知らせ下さい。日程等決まり次第、折り返しご連絡いたします。

「こもんず広場」〈申し込み不要、直接おいで下さい。出入り自由。子供同伴可〉

日時　5/30(木)・6/21(金)　10：00～12：00

会場　小中台公民館

「講座」〈詳細は後日チラシ・ホームページにてお知らせします。〉

「ツボミスクール：成長期の女子の心と体の変化」（ワコール出前講座）――― 6月　5日午前中
「絵本を使って性の話」（講師 水谷麻未先生）――― 9月30日午前中
「思春期講座～男子編～」（講師　花沢俊一先生）――― 秋実施予定
「就学時健康診断時の講座」（園生小・小中台小）―――11 月実施予定
※上記講座を予定しています。詳細はチラシでお知らせいたします。

地域情報

稲毛保健福祉センター健康課健康づくり班からのお知らせ

講演会　～キレイのためのカラダづくり～

年代によって、女性の身体は変化します。いつまでも若々しく健康を保つために・・。婦人科医師による女性の健康づくりに欠かせない「女性ホルモン」や「アンチエイジング」の講演会に参加してみませんか？（全２回）

対象：**千葉市在住の 20～40 代の女性**
定員：**20 名（予約制　※5 月 7 日朝 9 時より予約開始。【先着順】）**
託児：**未就学児（先着 10 名）**
場所：**稲毛保健福祉センター　2階**
日時：6/5（水）9:20～11:30（1 回目講義編）　6/12(水）9:20～11:30(2 回目運動編)

詳細は健康課健康づくり班にお問い合わせください。☎　043（284）6494　FAX　043（284）6496



こもんずサポーターからひと言

１人目を産んでから６回ほど引っ越しをした。我が家はいわゆる転勤族で、2，3 年に一度のペースで慣れ親しんだ土地や人々と別れ、そして新しい出会いを繰り返してきた。幸いなことに、行く先々で親切でフレンドリーな人たちと出会い、いつも誰かが手を差し伸べてくれた。知り合いのいない不慣れな土地で幼い３人の息子を育てることができたのは、家族の協力はもちろんのこと、その地域でつながりを持てたことに違いないと思う。初めての子育て、しかも未熟児で発達の遅い長男に不安を感じた時はミニバレーサークルの先輩が「長男の人生は始まったばかり。長い目で見たら小さいことよ」と諭してくれた。違う土地では、コーチングや親業という子育ての知識を教えてもらった。いろんな人と話したり、教わったりとつながることで子育てへの不安やストレスは大いに軽減した。今、子どもたちもそこそこ大きくなり、子育ての先輩方が私にしてくれたように、これまで受けてきたご恩を世の中に返す時が来たと思っている。こもんずのサポーターになったのは、自分にとって大きな学びがあると思ったし、私にも社会に何かお役に立てるかもという気持ちからだ。こもんずでは、誰でも自由に来ておしゃべりができるこもんず広場や、子育てに関する講座も随時行っている。関心のある人はぜひいらしてほしい。

編集・発行　家庭教育支援チーム「こもんず」
事務局　千葉市稲毛区小仲台 9-30-1 園生小学校内
ＦＡＸ　043-284-4971「こもんず」宛て明記
E-mail　konakadaicommons@yahoo.co.jp
ＨＰ　http://konakadaicommons.jimdo.com/